

平成16年8月9日

各 位

東京都港区白金台三丁目 16 番 13 号
オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 富田 憲介
(コード番号 4564 東証マザーズ)
(問 い 合 せ 先) 管 理 部 部 長 西 島 雄 一
電話番号 03 5798 7390

抗体医薬品開発に関するお知らせ

当社(以下OTS)は、本日の取締役会において、癌治療用の抗体医薬の開発に関し、米国BioWa社と提携に向けた覚書を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。今後OTSとBioWa社は、正式な契約に向けて詳細な条件を協議いたします。

OTSは東京大学医科学研究所、ヒトゲノム解析センター長中村祐輔教授の研究成果活用型ベンチャーで、ほぼ全ての癌腫を対象に、高精度で、網羅的な癌関連遺伝子の探索研究を実施しており、すでに多くの分子標的薬開発のターゲットとして利用可能な遺伝子を見出しております。更にOTSでは、平成15年9月に株式会社医学生物学研究所及び株式会社抗体研究所と癌関連遺伝子情報に基づいて、癌を対象とする抗体医薬の研究を共同して行う組織(抗体コンソーシアム)を創成し、網羅的な抗体作成に全力で取り組んでおり、すでに治療用抗体医薬の候補となる抗体もいくつか得られております。

BioWa社は、平成15年2月に設立された「抗体依存性細胞障害活性(ADCC活性)の極めて高い抗体を実生産レベルで作成できる技術」(高ADCC活性抗体作製技術、POTELLIGENT™、ポテリジェント)を戦略的に事業化を進めている米国法人です。ADCC活性は、すでに上市されている抗体医薬のうち、ハーセプチン(Herceptin:転移性乳がん治療薬)やリツキサン(Rituxan:非ホジキンリンパ腫治療薬)の主要な抗腫瘍メカニズムのひとつであり、この活性を高めることは次世代抗体技術として世界的に注目されています。BioWa社の有するポテリジェント技術は、抗体が保有する糖鎖のうちフコースという糖の量を低減させることによって、抗体が持つADCC活性を約100倍以上高めることができます。

OTSが所有する厳格な基準を満たす有望な分子ターゲットを標的として、抗体コンソーシアムによって作成される、優れた抗体を基にして、BioWa社が有するポテリジェント技術を用いてさらに活性強化される治療用抗体医薬は、有効性が高くかつ副作用の少ない優れた医薬品になることが期待されます。OTSは抗体医薬の開発(臨床試験)を実施することにより、医薬品開発に本格的に参入いたします。

抗体医薬市場は2001年から2002年にかけて新製品が上市され本格的に市場形成がなされてきております。全世界における抗体医薬の市場は現在数千億円規模に拡大し、近年急速に伸長していることから2010年には数兆円規模になると

期待されております。

BioWa社の概要

会社名： BioWa, Inc.
設立： 2003年2月1日
所在地： 米国ニュージャージー州プリンストン
資本金： 5百万USドル
(協和アメリカ株式会社100%出資)
社長： 花井陳雄
(はないのぶお)
事業内容： 抗体技術の事業化、抗体医薬のライセンス・開発

ADCC活性：

ADCC活性(抗体依存性細胞障害活性)とは、ヒトが持っている免疫機能のひとつで、ナチュラルキラー細胞や単球などの白血球が、抗体を介して癌細胞などの標的細胞を殺傷する活性のことです。